

Triofox Windows クライアント ガイド

Triofox Windows クライアント バージョン 12.8.4552.52715



Table of contents:

- [はじめに](#)
- [クライアントエージェント](#)
- [Windowsクライアントエージェント](#)
 - [システム要件](#)
- [Triofoxにログインする](#)
- [ファイルとフォルダへのアクセス](#)
- [クラウドドライブアクセス](#)
- [管理コンソール](#)
- [ファイルの転送](#)
- [クラウドドライブのコンテキストメニュー](#)
- [ファイルのコンテキストメニュー](#)
- [フォルダのコンテキストメニュー](#)
- [クライアントからフォルダを添付する](#)
- [ファイルのロック](#)
- [オフラインアクセス](#)
- [デバイス情報](#)
- [アタッチされたフォルダ](#)
- [オフラインフォルダ](#)
- [ロックされたファイル](#)
- [保留中のチェックイン](#)
- [設定](#)
 - [同期スロットル](#)
 - [同期スロットルアップロード帯域幅 \(KB/s, 0-無制限\)](#)
 - [同期スロットルダウンロード帯域幅 \(KB/s, 0-無制限\)](#)
 - [フルスピード同期開始時間 \(デフォルト 7:00\)](#)
 - [フルスピード同期停止時間 \(デフォルト 20:00\)](#)
 - [ローカルファイルをスキャンし、必要に応じてクラウドに同期](#)
 - [クラウドファイルをスキャンし、必要に応じてローカルに同期](#)
 - [ダミーファイル変更通知を無視](#)
 - [スケジュール同期](#)

- スケジュール同期を有効にする
- マップドライブコントロール
 - クラウドドライブラベル
 - ドライブレター
 - ドライブのマウントを無効にする
 - 「マイドキュメント」の下にクラウドドライブのショートカットを作成
- 帯域幅コントロール
 - ダウンロード帯域幅制限 (KB/s、0-無制限)
 - アップロード帯域幅制限 (KB/s、0-無制限)
 - ファイル転送スレッドの最大数
- ローカルキャッシュ
 - キャッシュディレクトリ
 - キャッシュサイズ制限 (MB)
 - 最小限の空きディスクスペース (GB)
- 通知
 - オフラインモード通知を無効にする
 - ファイル変更通知を無効にする
 - 大きなファイルダウンロードトラッカーウィンドウを無効にする
 - スケジュールされたタスクの自動タスクトラッカーを無効にする
 - シャットダウン確認を無効にする
 - フォルダ移動確認を無効にする
- 高度な設定
 - zipファイルとexeファイルのインプレースオープニングを有効にする
 - インプレースで開くことを許可されているzipファイルの最大サイズ (MB)
 - 常に画像プレビューを許可する
 - 遅いネットワークモードを有効にする
 - タスクが実行中のときにマシンをスリープ状態にしない
 - ドライブをグローバルスペースにマウントする
 - 隠しファイルをアップロードする
 - システムファイルをアップロードする
 - 常にアクセスされるファイルをアップロードするためにボリュームシャドウコピーを使用する
- 診断

- 監査トレースログを保持する（日数、0=決してパージしない）
- トレースレベル（無効、エラーログ、警告ログ、情報ログ、すべてのログ）
- 同期ステータス
 - タスクマネージャー

はじめに

Triofox Windowsクライアントユーザーガイドへようこそ。このガイドでは、Triofoxのユーザー向けのクライアント機能について説明します。

クライアントエージェント

Triofoxクライアントエージェントは、Windows、Mac、ウェブブラウザ、iOS、Androidで利用可能です。これらのクライアントは、任意のサポートされるストレージサービスによって動力を供給されるTriofoxアカウントと連携して動作するように設計されています。

Windowsクライアントエージェント

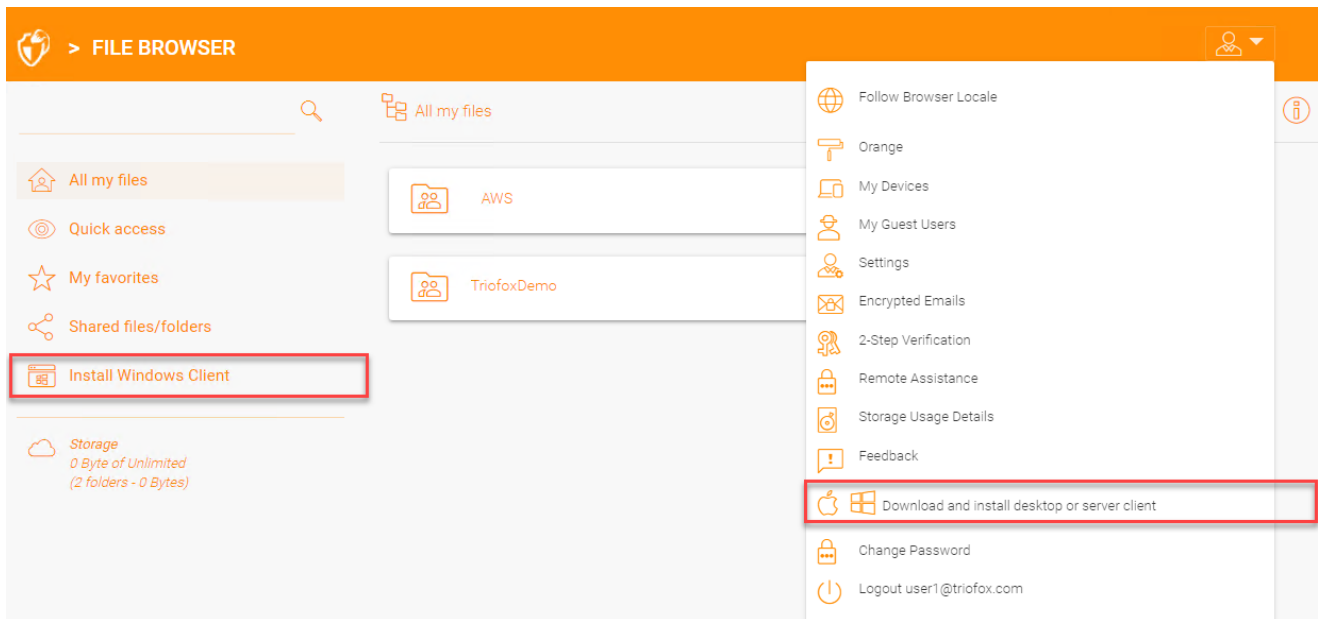
システム要件

- OS - Windows XP、Vista、Windows 7/8/8.1/10
 - 通常、2016/2019/2022などのWindows Serverタイプのマシンでは、クライアントエージェントの代わりにサーバーエージェントが使用されます。ただし、クライアントエージェントはWindows Server OS上でデスクトップアプリケーションとしても実行できます。例えば、ターミナルサーバー環境でデスクトップエージェントを使用したい場合は、サーバーエージェントの代わりにデスクトップクライアントをインストールする必要があります。
- ハードドライブ - 100MB
 - インストールされたプログラムに50MB
 - キャッシュフォルダの操作に少なくとも50MB
- CPU - 特に要件はありません (Intel/AMD x86/x64)
- インターネット接続

このガイドは、Windowsクライアントエージェントバージョン12.8.4552.52715
に対して書かれています

注意: Triofoxにログインする前に、WindowsまたはMacクライアントをダウンロードする必要があります。これにより、Triofoxアカウントに既に関連付けられているクライアントインストールパッケージにアクセスでき、Triofoxのインストールとアクセスが容易になります。

まず、Triofoxウェブポータルにログインし、以下に示すようにクライアントダウンロードへのリンクをクリックします。



ダウンロードボタンをクリックすると、Windowsデスクトップクライアントを含むオプションが表示されるページが表示されます。Windowsクライアントインストーラーのリンクをクリックしてダウンロードします。

The browser-based file explorer provides most of the basic functionality. For a richer, native experience, you can download native clients.

Triofox Desktop Client (Windows)

Installs on a (Windows XP, Vista, 7, 8, 8.1, 10) x86/x64 PC, access your storage account as a local drive, sync file across multiple machines.



Legacy PCs
(XP, Vista, 7)



Windows 8



Windows 10

[Window Client Installer 12.8.4552.52715](#)

Triofox Desktop Client (MacOS)

Installs on MacOS, access your storage account as a local drive (mounted volume in Finder).



Legacy Mac OS X
(10.9->10.12)



Mac OS X
10.13+

[Installer Package \(MacOS 10.9/10.10/10.11/10.12\)](#)

[Installer Package \(MacOS 10.13 and above\)](#)

Triofox Mobile



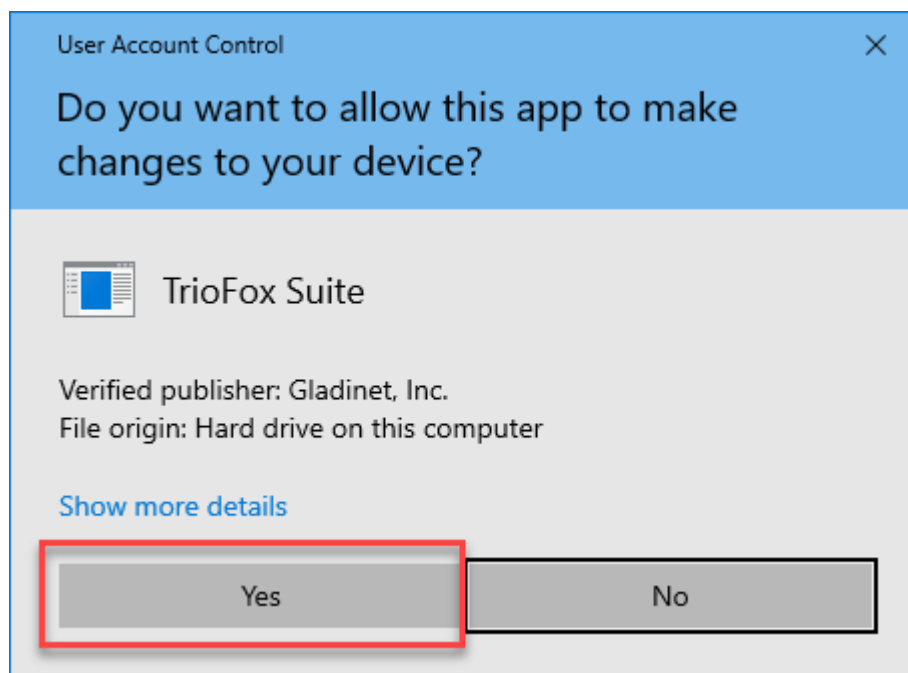
[View in Apple App Store](#)



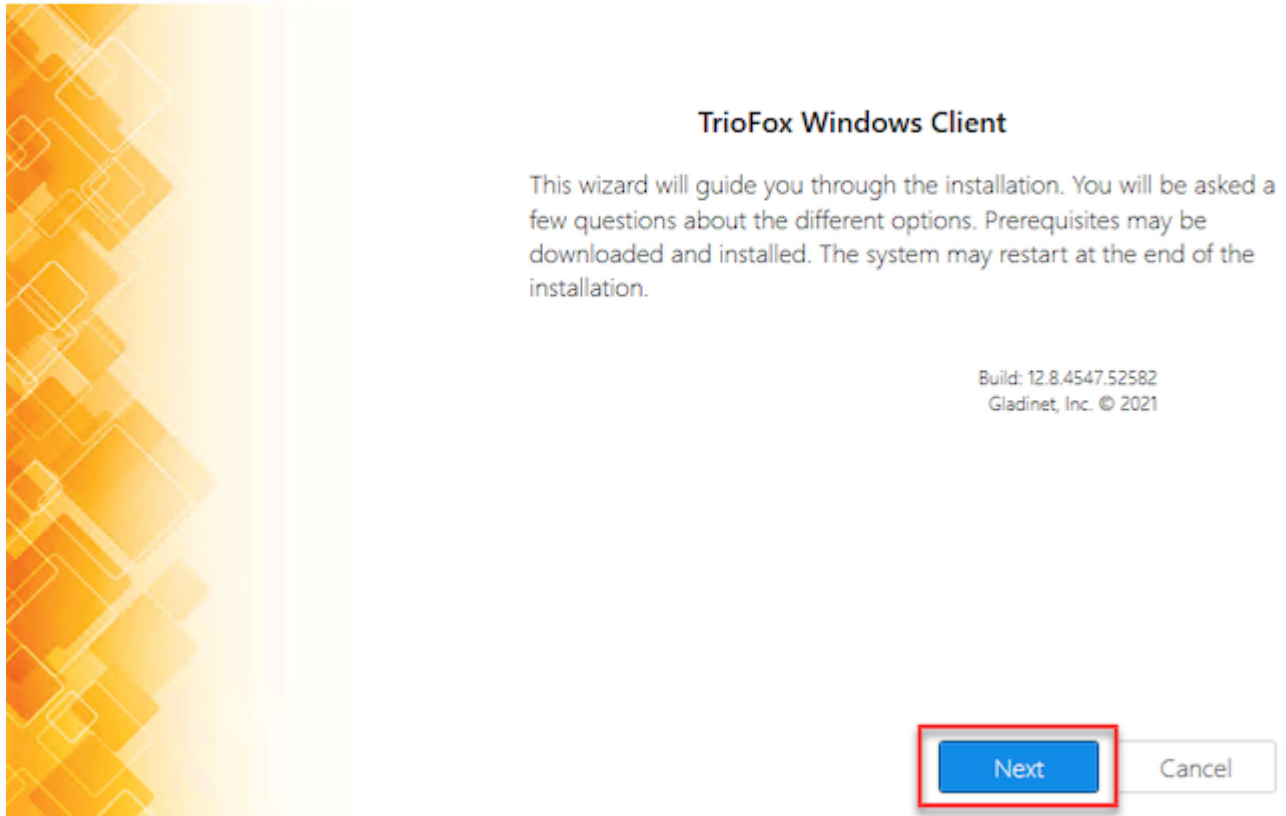
Available in "Google Play" Market Store.
Android OS 4.4+

[CLOSE WINDOW](#)

ダウンロードしたMSIパッケージを実行してインストールを開始します。

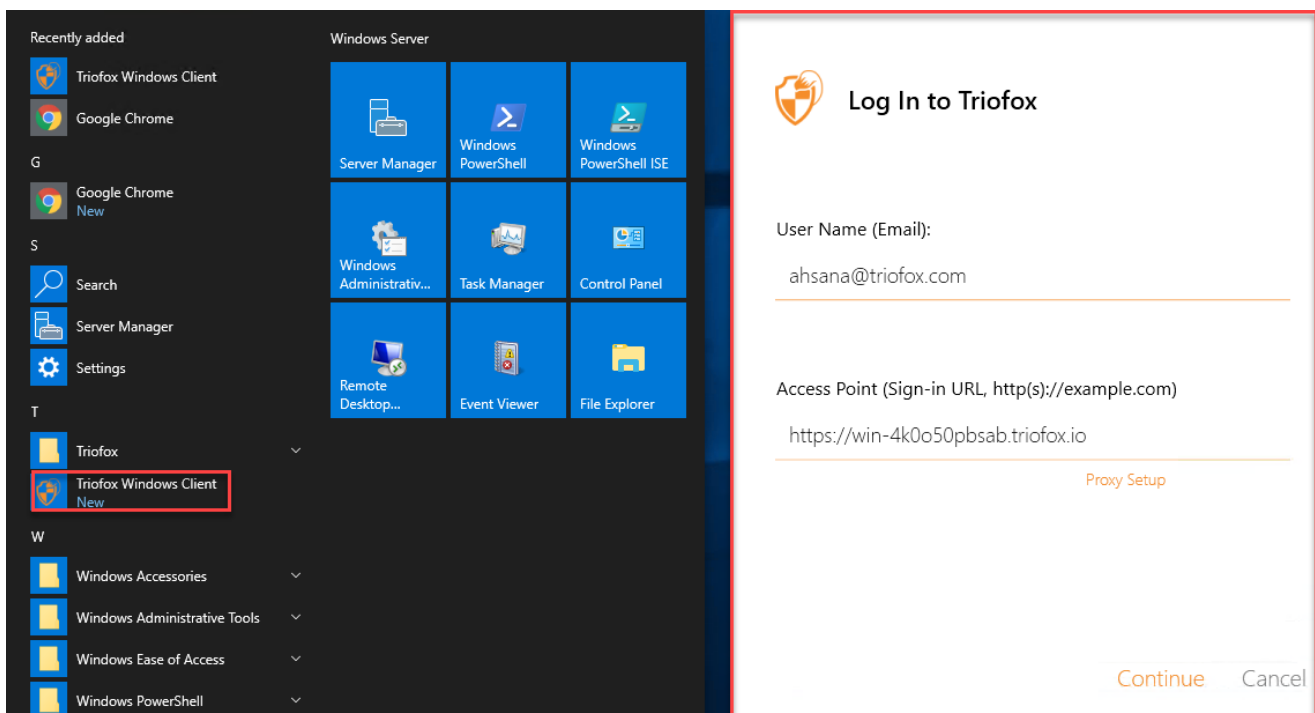


次に「次へ」をクリックし、指示に従ってインストールを完了します。セットアップ Windowsクライアント画面では、必要に応じてインストールをカスタマイズできます。

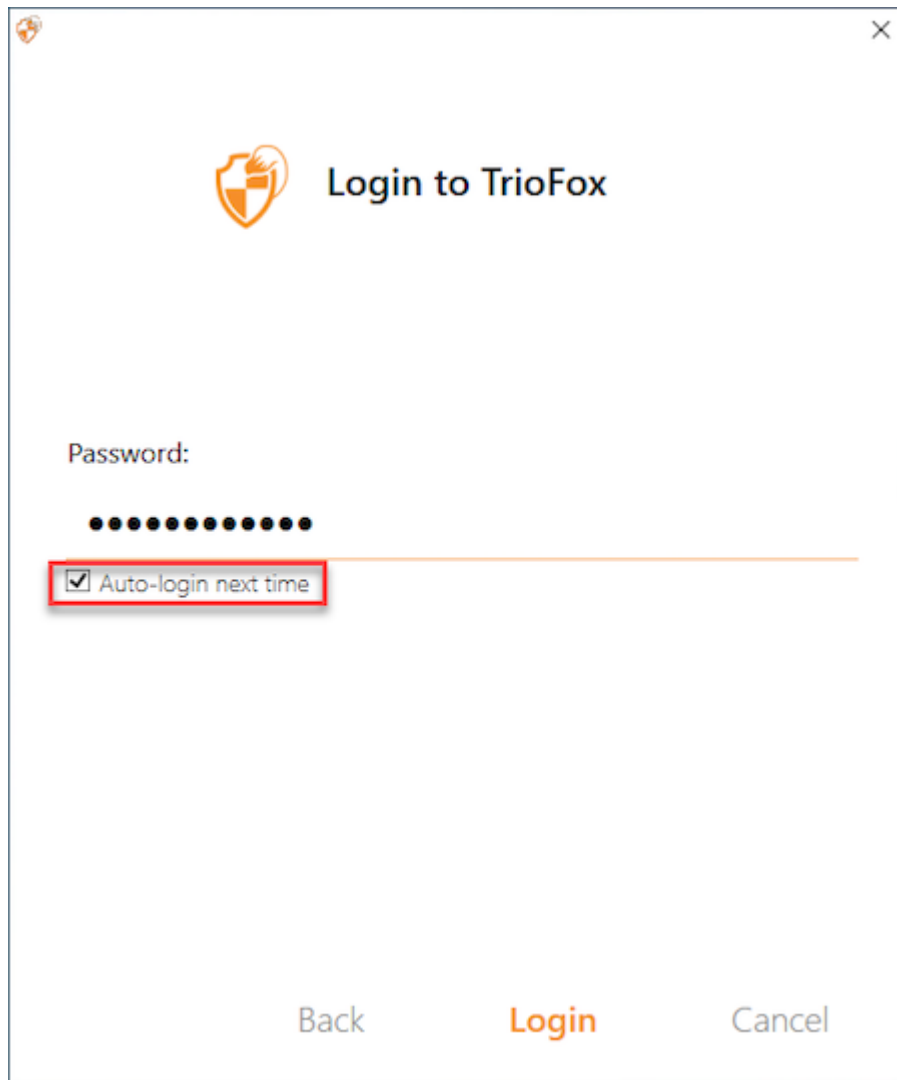


Triofoxにログインする

インストールの最後に、Triofoxユーザーアカウントの資格情報を入力するように求められます。これらの資格情報を使用すると、Triofox Windowsクライアントが承認され、Triofoxユーザーアカウントに接続されます。WindowsスタートメニューからもWindowsクライアントエージェントにアクセスできます。



「次回から自動ログイン」オプションが選択されている場合（デフォルト）、Windowsが起動するとCloud Windowsクライアントが起動します。デスクトップの右下またはタスクバーの通知エリアの右下にクライアントアイコンが表示されます。



ファイルとフォルダへのアクセス

Triofoxファイルとフォルダを使用する主な方法は2つあります。

- まず、Triofoxクラウドドライブがあります。

Triofoxクラウドドライブを使用すると、ファイルに直接オンデマンドでアクセスできます。

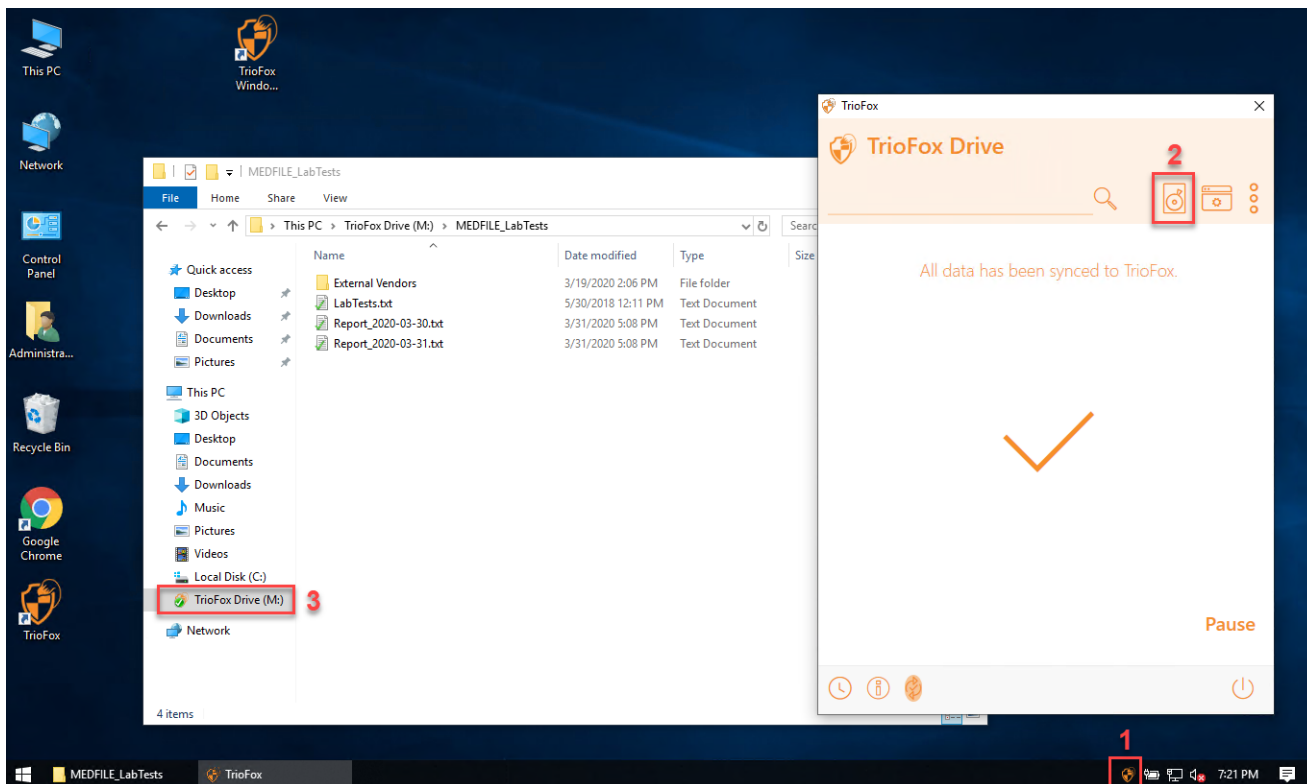
- その次に、同期フォルダがあります。

クラウドドライブの外にある場合、既存のフォルダの場所を変更したくない場合は、ローカルフォルダをアクセスメカニズムとしてアタッチできます。アタッチされたフォルダはクラウドドライブと双方向に同期されます。

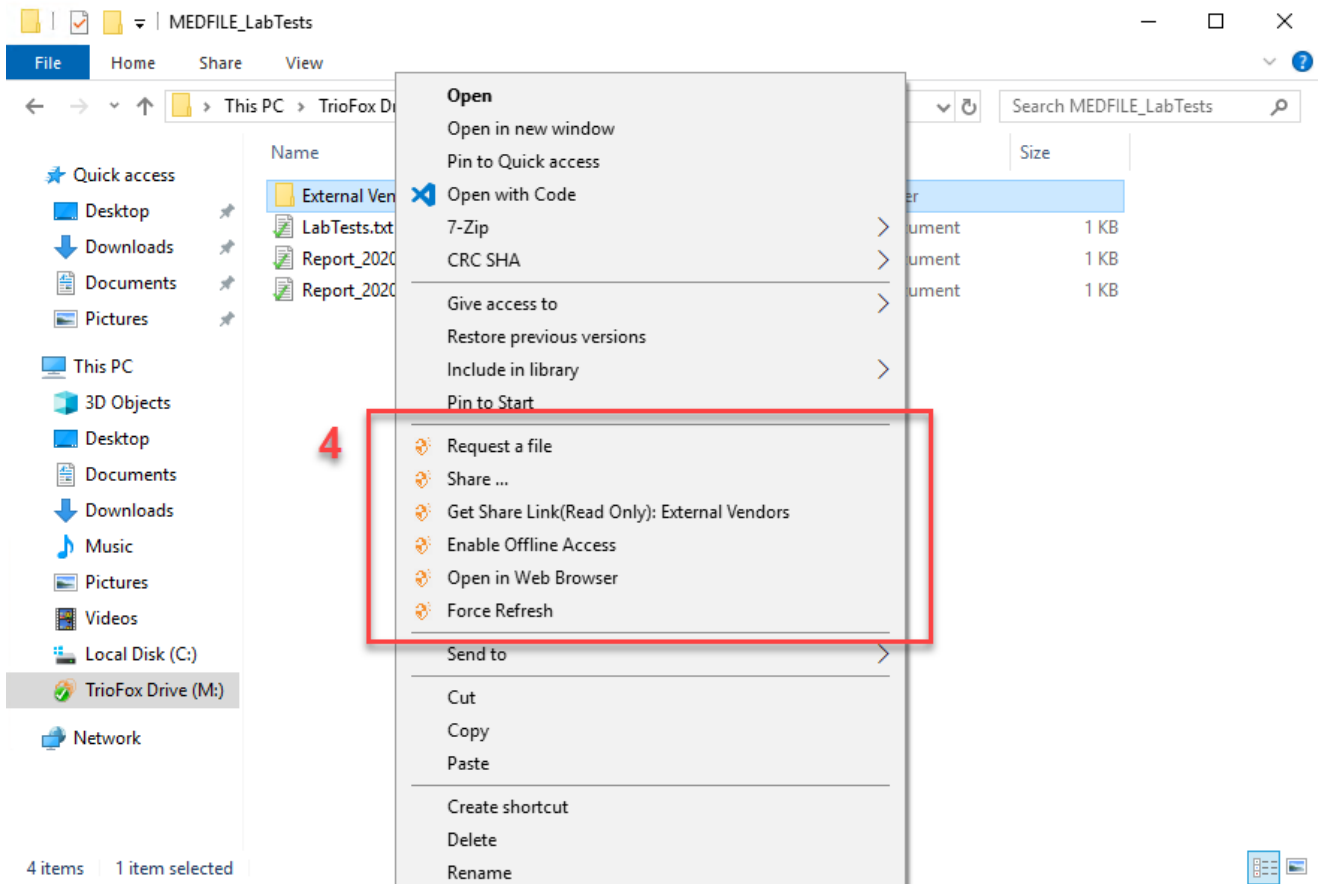
クラウドドライブアクセス

インストールが完了すると、Triofoxドライブを開くことができるシステムトレイアイコンが表示されます。

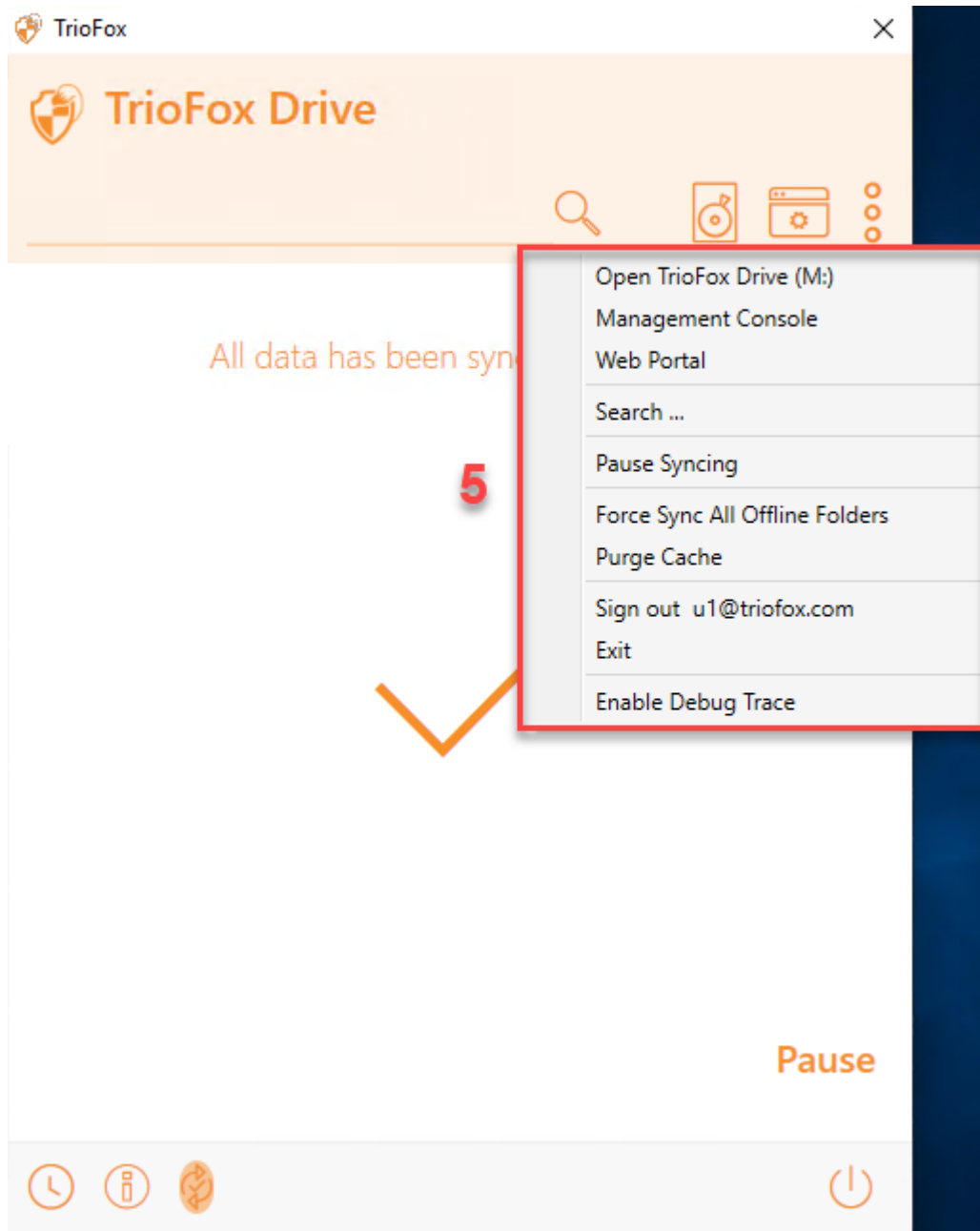
システムトレイアイコン **(1)** をクリックすると、トレイメニューが開きます。フォルダアイコン **(2)** をクリックすると、Windowsエクスプローラがクラウドドライブビューアー **(3)** で開きます。



クラウドドライブフォルダでは、一般的なWindowsフォルダ機能を実行し、右クリックしてクラウドドライブコンテキストメニュー **(4)** にアクセスできます。



トレイメニューに戻ると、他の重要な機能にアクセスできる追加のメニューアイコン **(5)** があります（例：Webポータル、オフラインフォルダの強制同期、サインアウト、終了、デバッグトレースの有効化）。



管理コンソール

また、トレイメニューには管理コンソールアイコン **(6)** があります。これをクリックすると、ブラウザが開き、管理コンソールにアクセスできます。

 TrioFox Drive

6





All data has been synced to TrioFox.





Pause




 Dashboard


 Attached Folders

 Offline Folders

 Locked Files

 Pending Check-ins

 Settings

 Sync Status



Triofox

Windows Client - 12.8.4552.52715

ahsana@triofox.com (<https://win-4k0o50pbsab.triofox.io>)

Storage Quota: 

Cache Size: 63 KB 

Upload (KB/Second): Total: 0 KB/Second

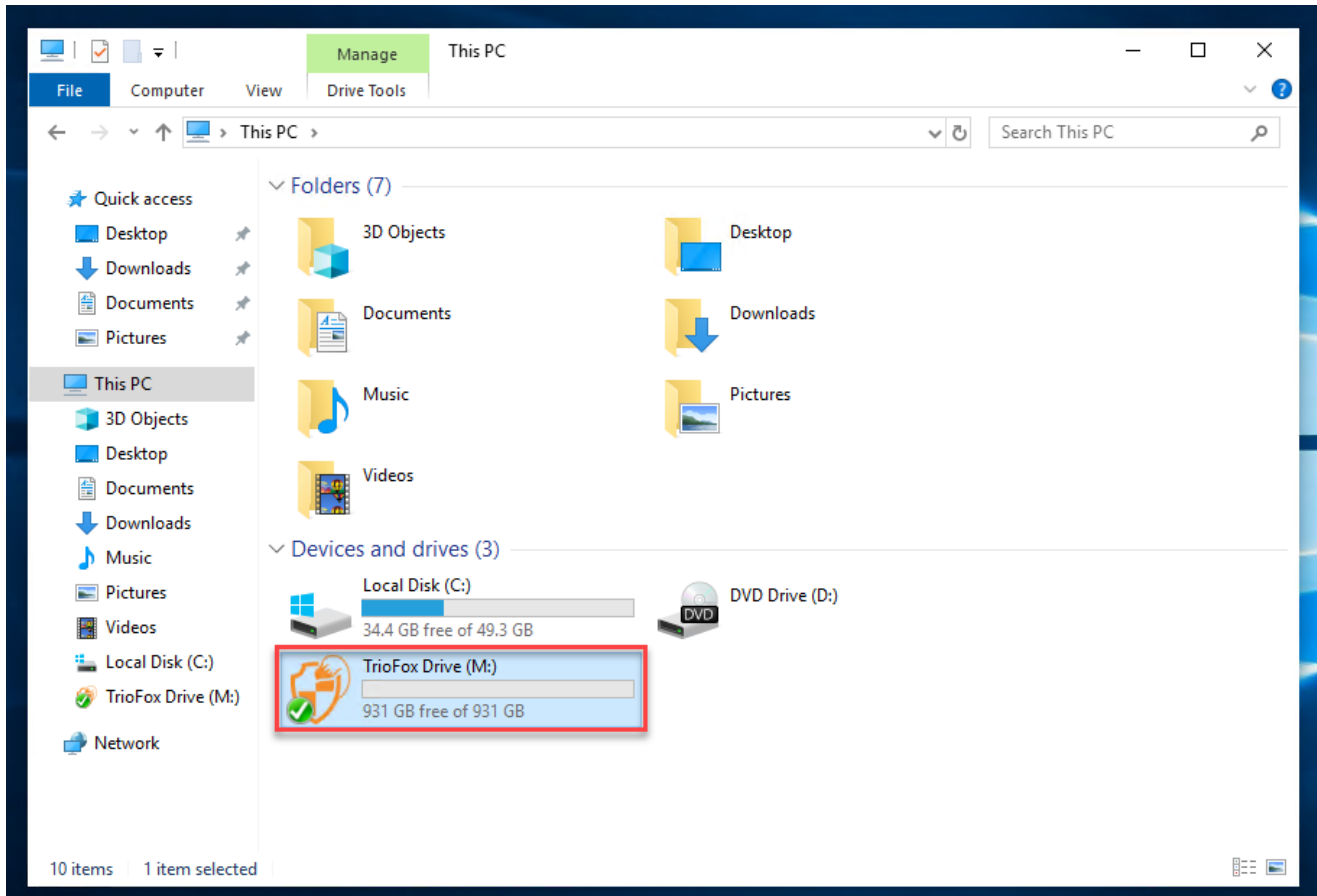
Download (KB/Second): Total: 0 KB/Second

✓ All data has been synced to Triofox. [Pause](#)

ファイルの転送

これで、クラウドストレージを仮想ドライブやフォルダのように使用できます。ローカルのドキュメントをクラウドストレージにドラッグアンドドロップするだけで、これまで通りに行うことができます。

ドライブ文字を直接使用してクラウドドライブにアクセスできます。



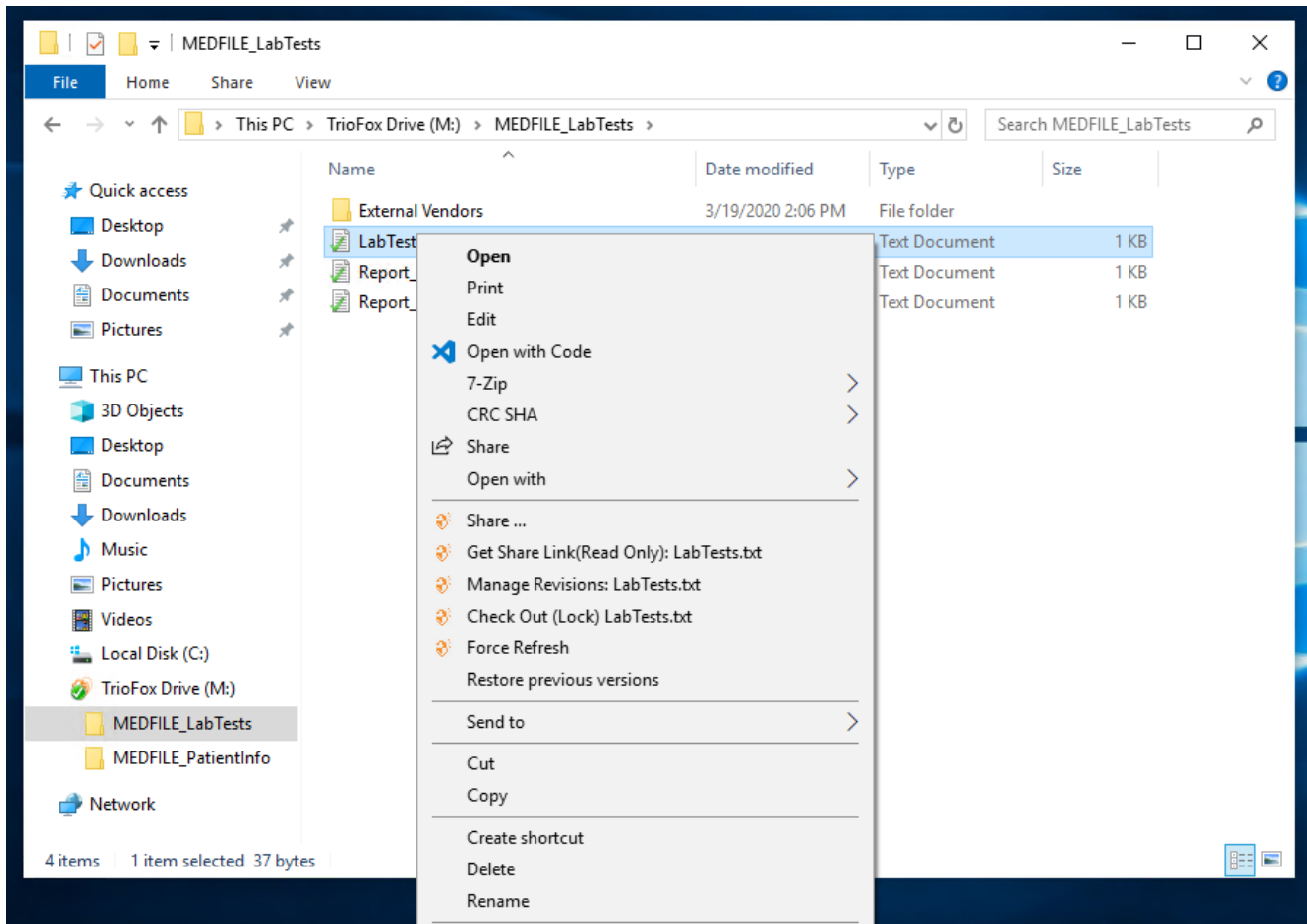
Triofox Windows デスクトップエージェントを使えば、クラウドストレージへのデータ移動や、クラウドストレージからのデータ抽出が非常に簡単になります。

フォルダやファイルを右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。このメニューを使用して、ファイルに対してさまざまなアクションを実行できます。

クラウドドライブのコンテキストメニュー

コンテキストメニューは、右クリックする対象によって異なります。たとえば、以下の画像では、コンテキストメニューの3つのバリエーションを見ることができます。

ファイルのコンテキストメニュー



共有...

メールを介して他の人とファイルを共有できます。複数のメールアドレスを「;」で区切って一度に追加することができます。

共有リンクを取得（読み取り専用）：

ファイルへの読み取り専用のウェブリンクを取得できます。このオプションを使用すると、ファイルを公開（読み取り専用）リンクとして共有できます。リンクを持っている人は誰でもこのファイルにアクセスできます。このオプションをクリックして、公開リンクをクリップボードにコピーします。[OK]をクリックすると、リンクをメールやソーシャルメディアなど、どこにでも貼り付けることができます。

リビジョンの管理

このオプションを選択すると、ウェブブラウザが開き、ファイルのWebポータルバージョンマネージャーにアクセスできます。

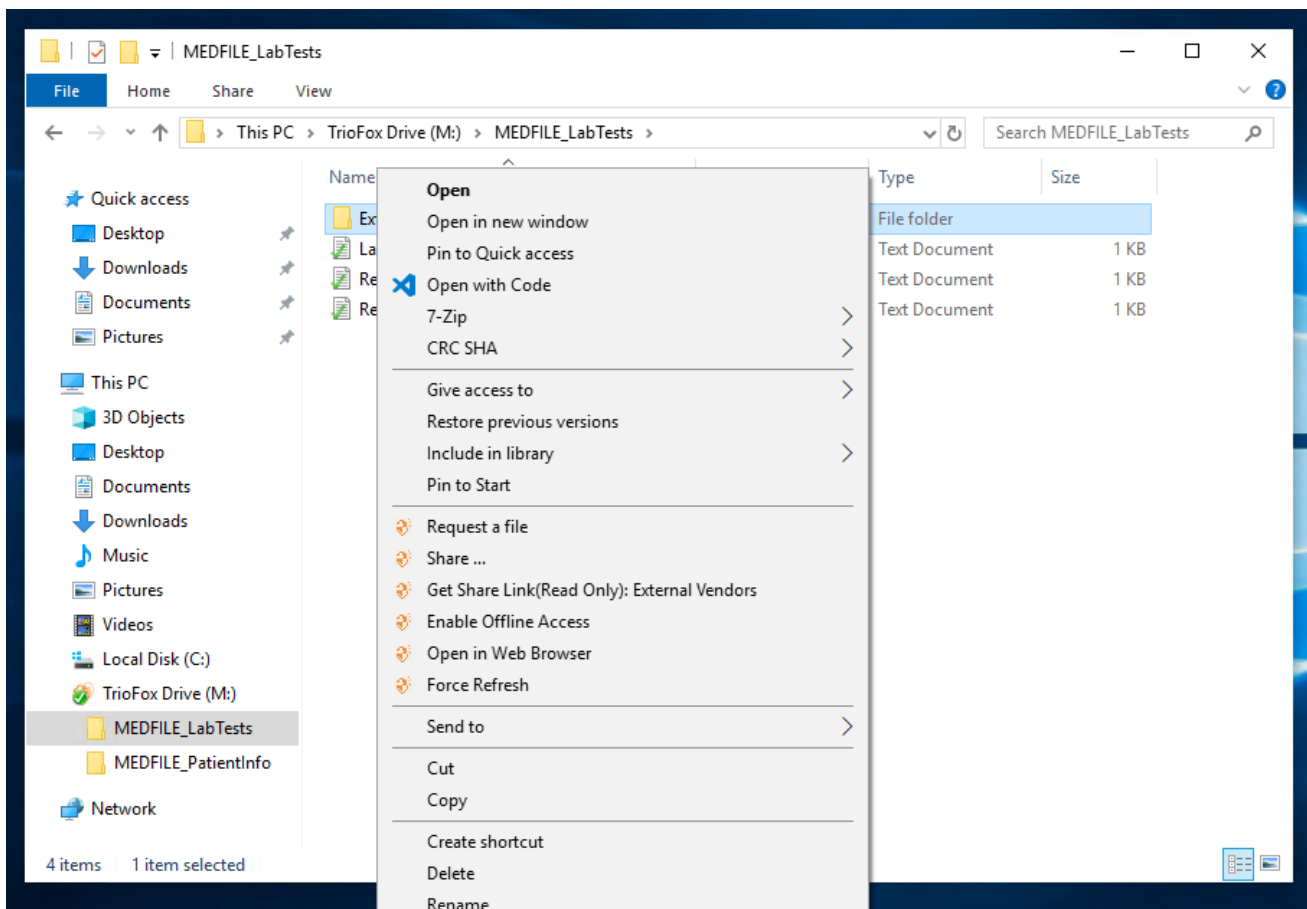
チェックアウト（ロック） / チェックイン（ロック解除）

このオプションを使用すると、ファイルを手動でチェックアウトできます。ファイルに対するすべての変更は、チェックインされるまでローカルに留まります。

強制リフレッシュ

このオプションをクリックすると、ウェブポータルとローカルフォルダを同期できます。

フォルダのコンテキストメニュー



ファイルのリクエスト

ユーザーにフォルダリンクを渡し、ユーザーにファイルのアップロードを要求できます。複数のメールアドレスを「;」で区切って一度に要求できます。このアップロードリンクは、一定時間後に期限切れに設定することも、決して期限切れにしないこともできます。

共有...

メールを介して他の人とフォルダを共有できます。複数のメールアドレスを「;」で区

切って一度に追加できます。

共有リンクを取得（読み取り専用）：

フォルダへの読み取り専用のウェブリンクを取得できます。このオプションを使用すると、フォルダを公開（読み取り専用）リンクとして共有できます。リンクを持っている人は誰でもこのフォルダにアクセスできます。このオプションをクリックして、公開リンクをクリップボードにコピーします。**[OK]**をクリックすると、リンクをメールやソーシャルメディアなど、どこにでも貼り付けることができます。

オフラインアクセスの有効化/無効化

ここでフォルダのオフラインアクセスを有効にすると、フォルダの内容を事前に取得できます。

ウェブブラウザで開く

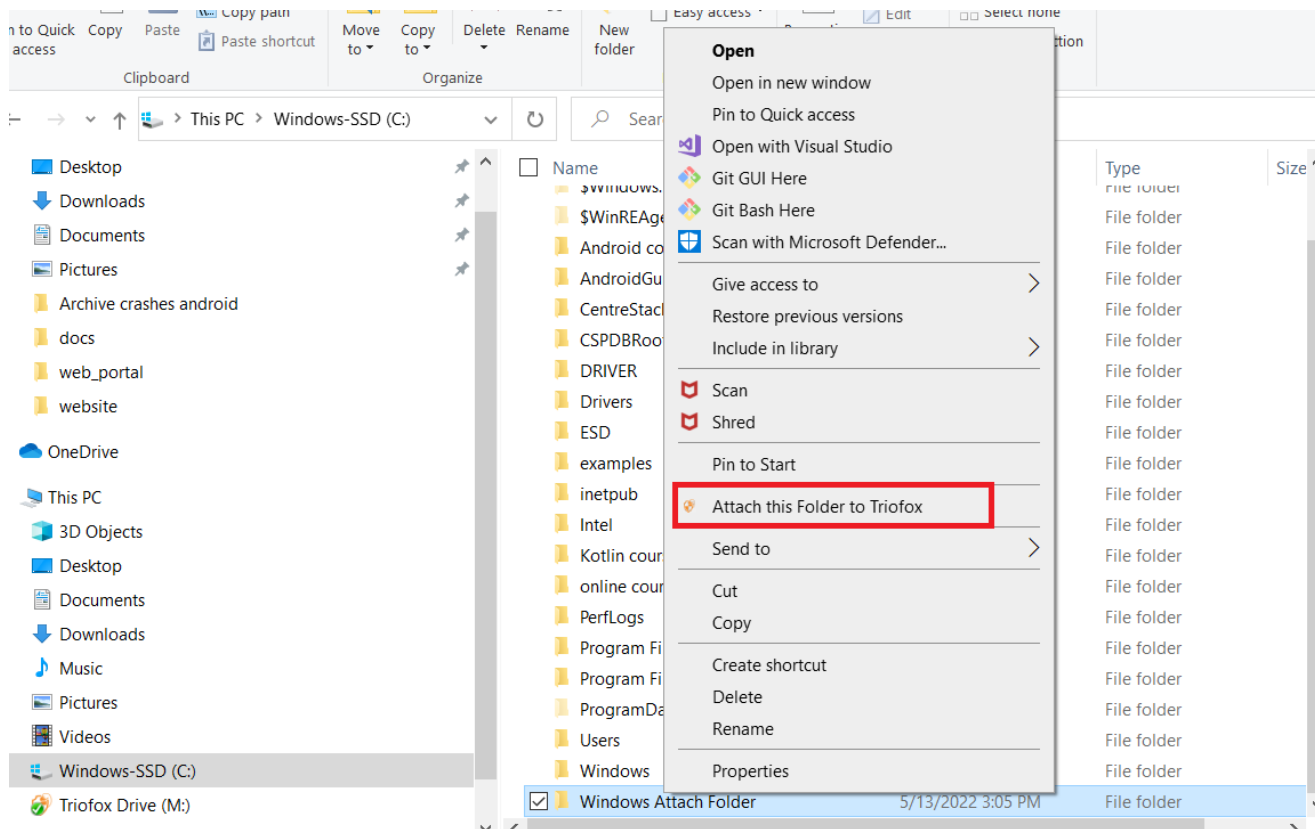
ウェブブラウザを開き、Webポータルでこのフォルダにアクセスします。

強制リフレッシュ

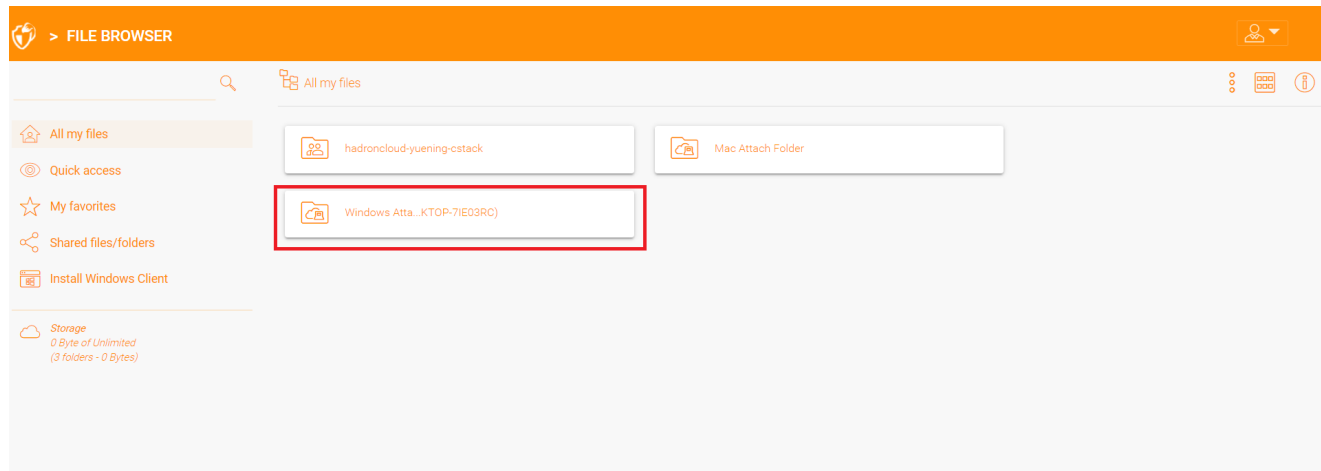
これをクリックすると、ウェブポータルとローカルフォルダを同期できます。

クライアントからフォルダを添付する

このクライアントからローカルフォルダを添付することもできます。



これらのフォルダは、TriofoxユーザーがTriofoxに添付したローカルPC/Macのローカルフォルダです。ローカルフォルダが添付されると、ユーザーはすぐにTriofoxでそれらにアクセスできます。ローカルフォルダはTriofox（「クラウド側」）とも同期されます。



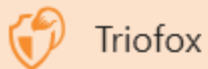
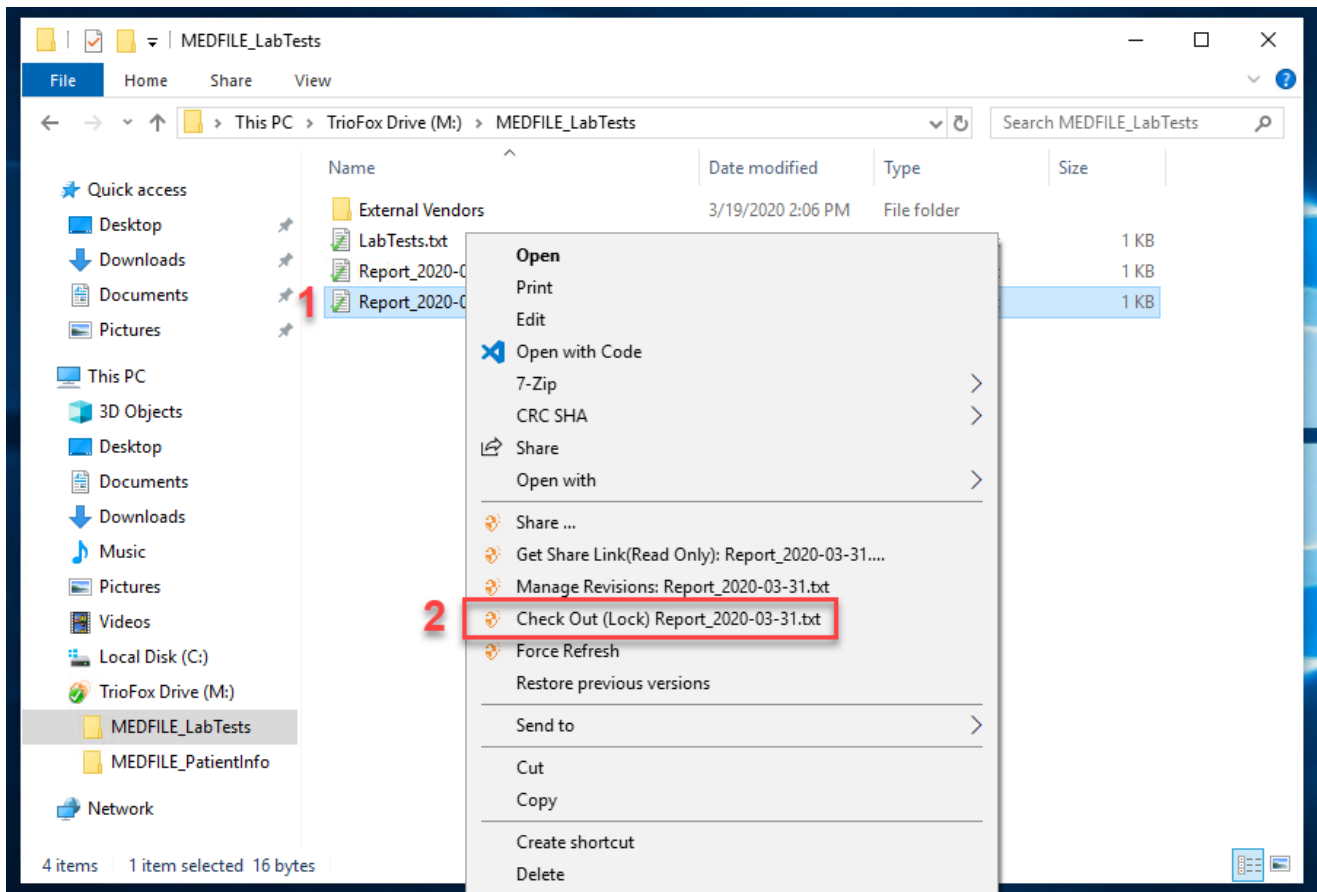
ファイルのロック

Triofoxのクラウド管理者は、「自動分散ロック」という設定を有効にするオプションを持っています。これにより、同時に複数の人がファイルを更新することが防がれ、望ましくない結果をもたらすことが防げます。

自動ロックと手動ロックはいつ使用するべきですか？

ファイルが自動的にロックされる場合、同じファイルは自動的にアンロックされる必要があります。この場合、ファイルをロックするエージェントは、中央のTriofoxサーバーと健全なハートビートを維持する必要があります。ハートビートを維持できない場合、ファイルは自動的にアンロックされます。エージェントマシンの状況に関わらずファイルをロックしたままにしたい場合は、手動ロックが推奨されます。手動でロックされたファイルは、その後手動でアンロックする必要があります。

ファイルは手動でロックすることができます。Triofoxクラウドドライブ内の任意のファイル **(1)** を右クリックし、「このファイルをチェックアウト（ロック）する」 **(2)** を選択して、ロック状態とアンロック状態を切り替えます。次に、ポップアップウィンドウでOKをクリックします。



Check out

Confirm check out the file:M:\AWS\Triofox final.wmv



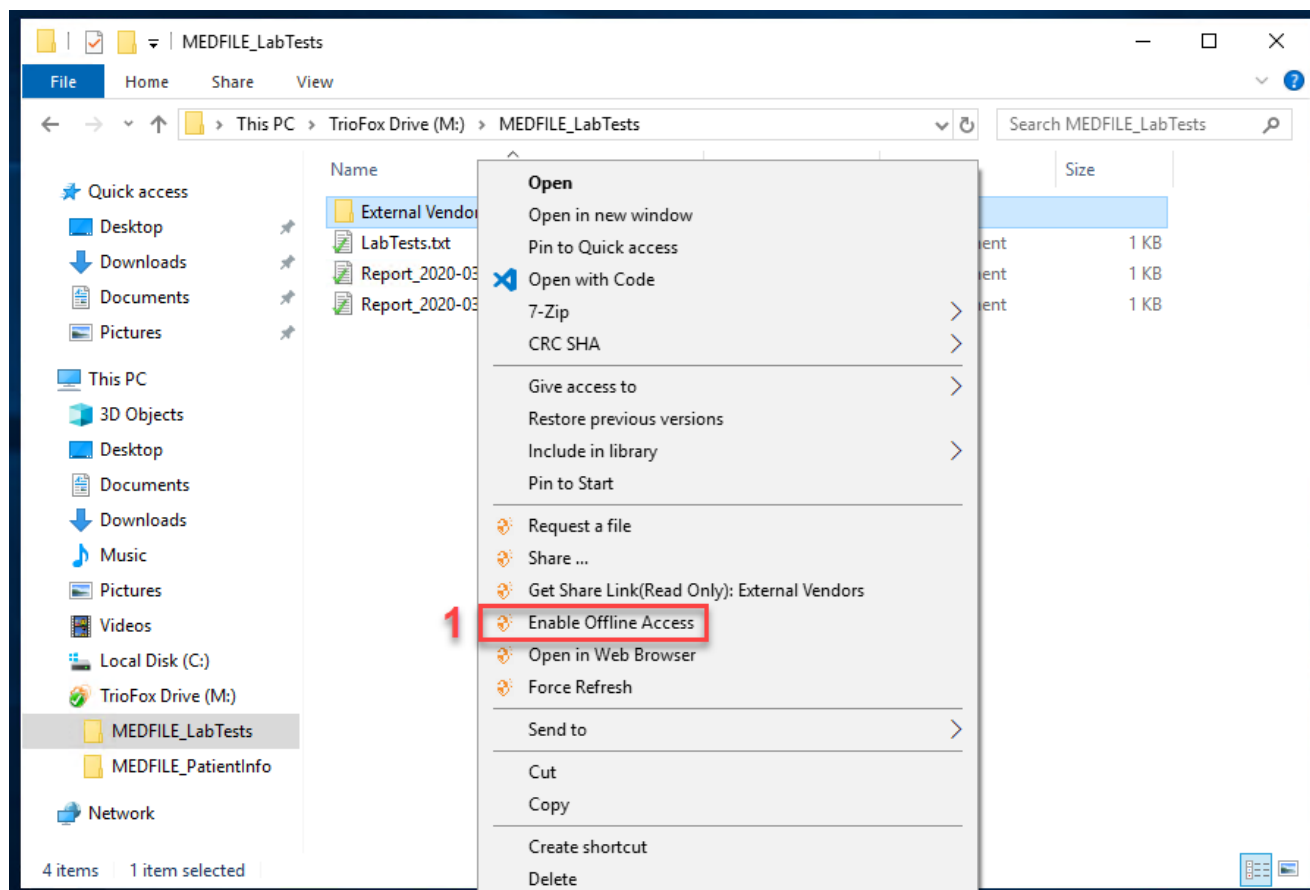
コンテキストメニューからファイルをロックするオプションが表示されます。ファイルは、「アンロック」するまでロックされたままになります。ファイルの使用が終わ

ったら、ファイルを右クリックしてコンテキストメニューから「チェックイン」を選択してアンロックできます。

オフラインアクセス

クラウドドライブのファイルはデフォルトでは完全に同期されていません。使用するファイルのみが同期されます。しかし、ファイルを強制的に同期させることができます。「オフライン」にしたいフォルダを右クリックして、「オフラインアクセスを有効にする」**(1)**を選択します。その後、ドライブアイコンをクリックしてから「すべてのオフラインフォルダを強制同期する」**(3)**を選択して、オフラインアクセス用に有効にしたすべてのフォルダを同期できます。

作業中のファイルの同期を一時的に停止することもできます。これもクラウドドライブアイコンを介して可能です。「同期を一時停止する」**(2)**をメニューから選択して、ファイルの同期を一時的に停止します。これにより、すべてが完了するまでローカルで文書（ドラフト）の作業を続けることができます。その後、「一時停止」のチェックを外してTriofoxクラウドドライブに接続し、すべての変更をアップロードできます。



TrioFox Drive



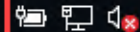
All data has been synced to TrioFox.



Pause



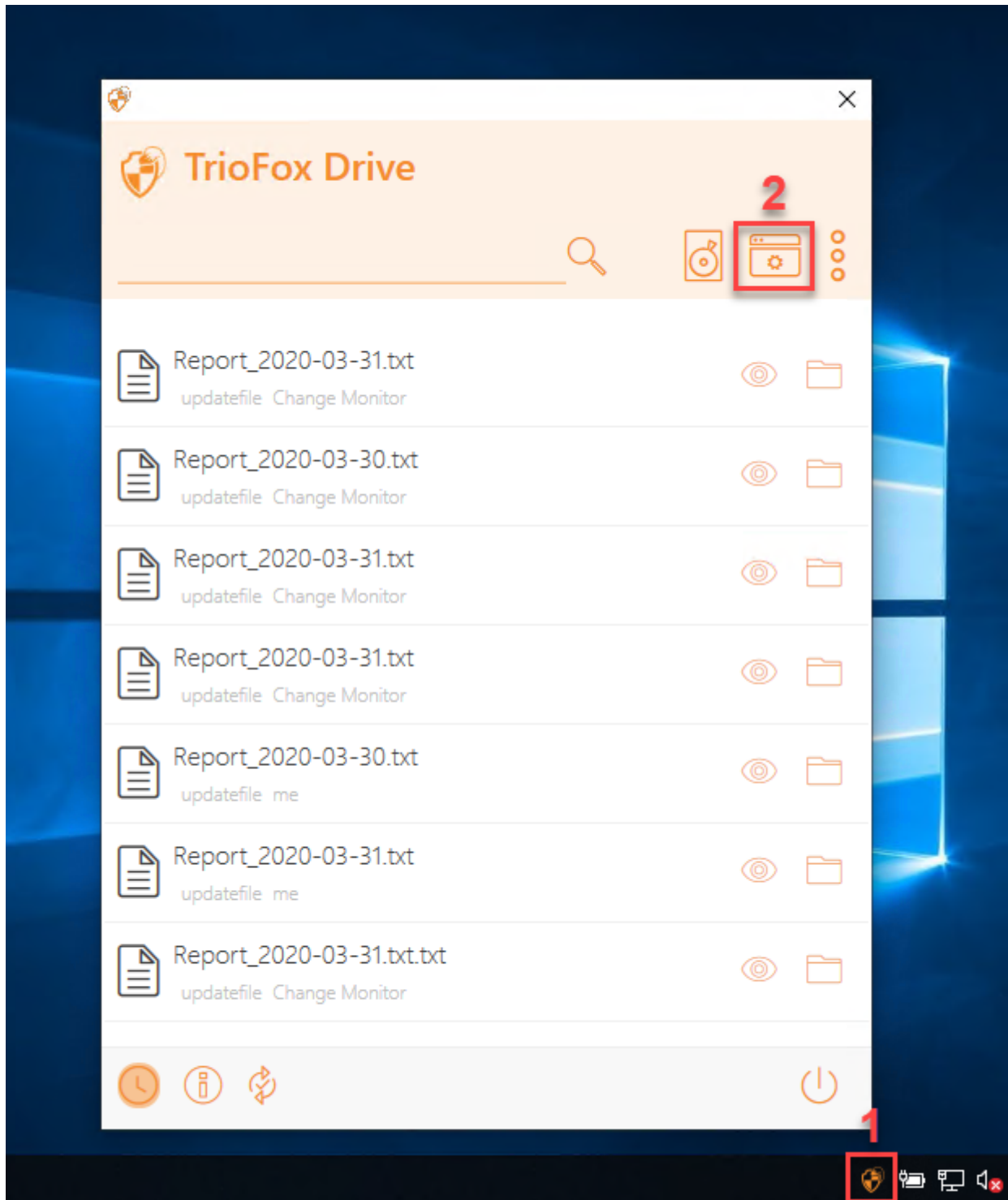
- Open TrioFox Drive (M:)
- Management Console
- Web Portal
- Search ... **2**
- Pause Syncing
- Force Sync All Offline Folders
- Purge Cache **3**
- Sign out u1@triofox.com
- Exit
- Enable Debug Trace



7:48 PM



デスクトップクライアントには、クライアント側の動作を制御する管理コンソールがあります。管理コンソールはシステムトレイアイコン **(1)** から起動できます。クライアントメニューで、管理コンソールの歯車アイコン **(2)** をクリックします。



デバイス情報

デフォルトページはデバイス情報ページです。デバイスの概要を提供し、デバイスオーナー、デバイスタイプ、OSタイプ、デバイスクライアントバージョン（ソフトウェアビルド番号）、最終ログイン時間、同期ステータス、キャッシュサイズ、最終レポート時間などの詳細が含まれています。

Triofox Dashboard

Dashboard

Attached Folders


Offline Folders

Locked Files

Pending Check-ins


Settings


Sync Status



Triofox

Windows Client - 12.11.560.53253
user1@user.com (https://tthcubtrio08-3.triofox.io)

Storage Quota: 506 MB/Unlimited 

Cache Size: 8 MB 

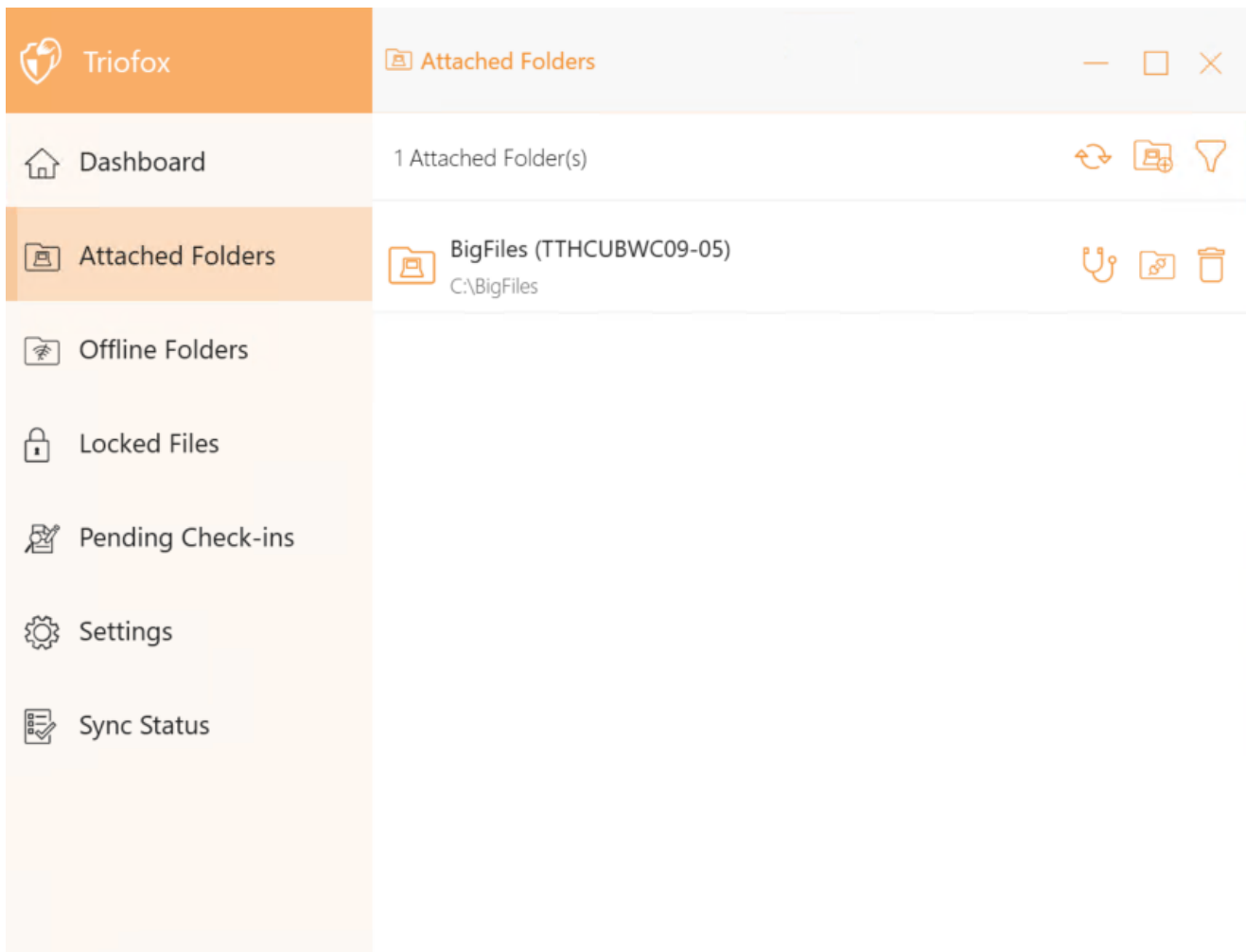
Upload (KB/Second): Total: 0 KB/Second

Download (KB/Second): Total: 0 KB/Second

✓ All data has been synced to Triofox. [Pause](#)

アタッチされたフォルダ

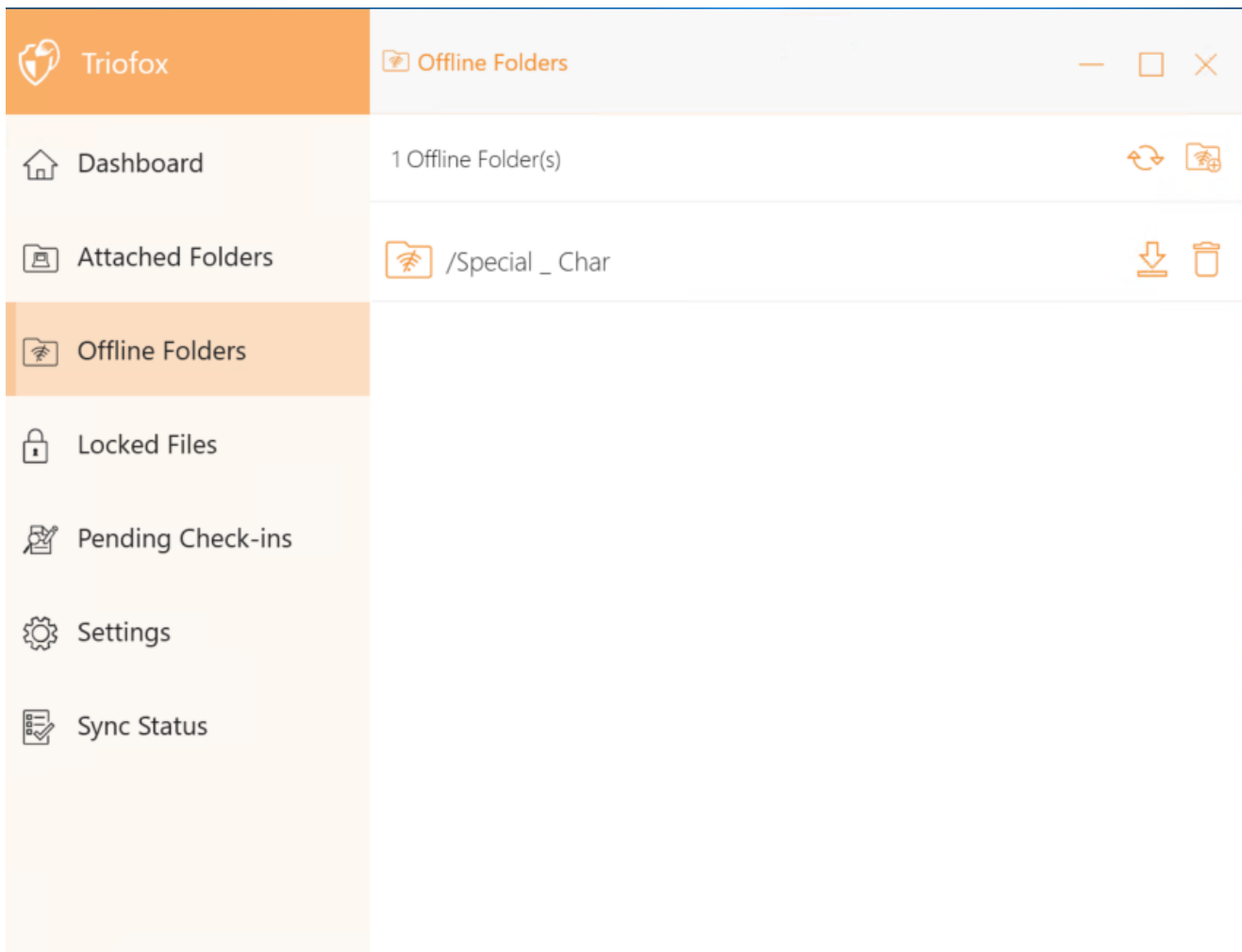
クラウドと双方向に同期されるローカルフォルダがアタッチされます。



オフラインフォルダ

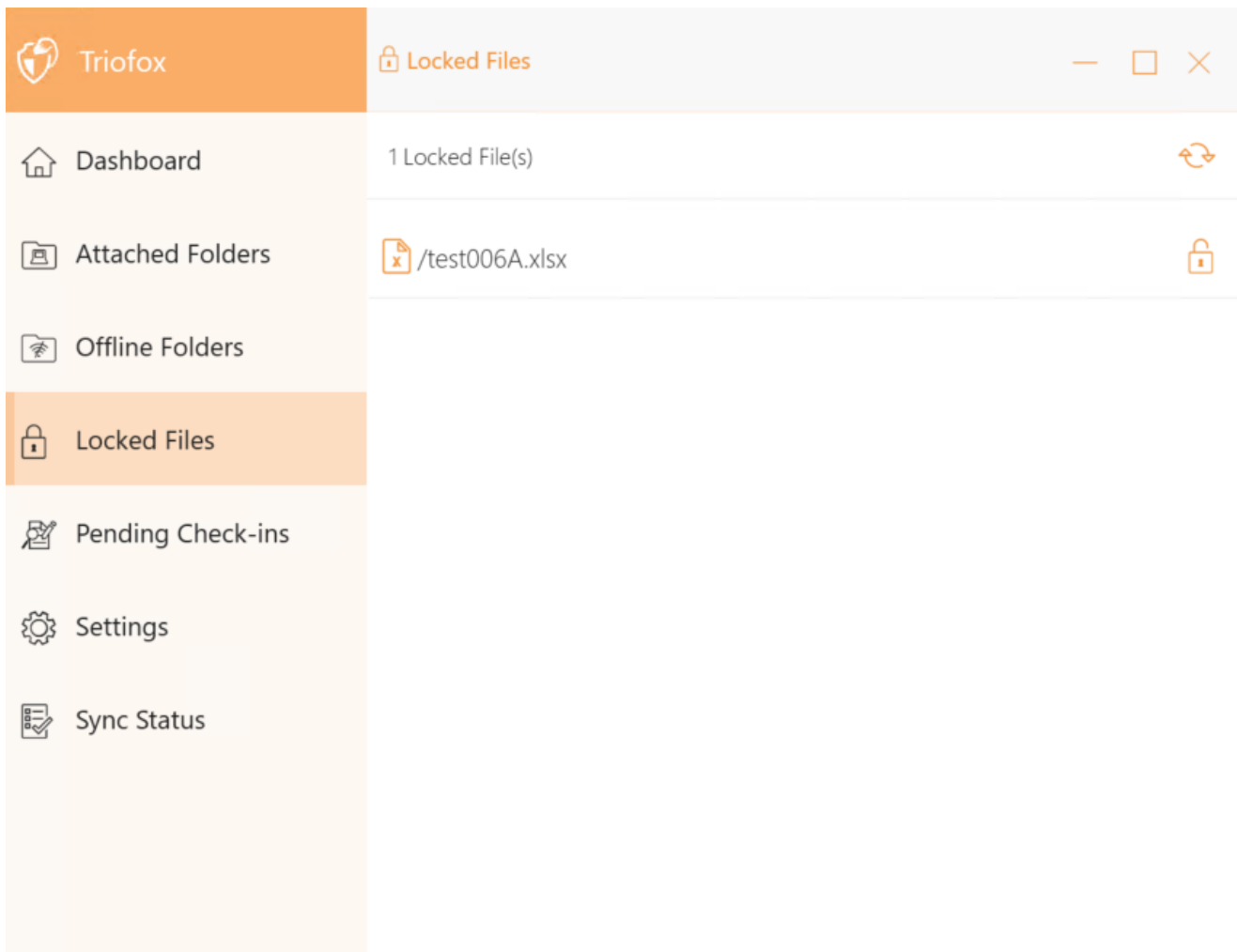
ローカルのクラウドドライブ上のほとんどのファイルは、プレースホルダーまたは完全なファイルの表現と同期されています。これにより、ユーザーがアクセスするまでファイルが完全にフェッチされないため、帯域幅が節約され、速度が向上します。フォルダを「オフライン」と設定すると、その内容はすぐにプリフェッチされます。サイズによっては時間がかかることがありますが、初期同期後は、オフラインステータスを維持するために必要に応じてフォルダの変更がダウンロードされます。

オフラインフォルダを追加するには、コンソールメニューからオフラインフォルダを選択し、「+」アイコンをクリックします。次に、クラウド内の共有フォルダからフォルダを選択し、オフラインアクセスを有効にするをクリックし、確認ダイアログではいいを選択すると、フォルダの内容がオフラインアクセスのためにプリフェッチされます。



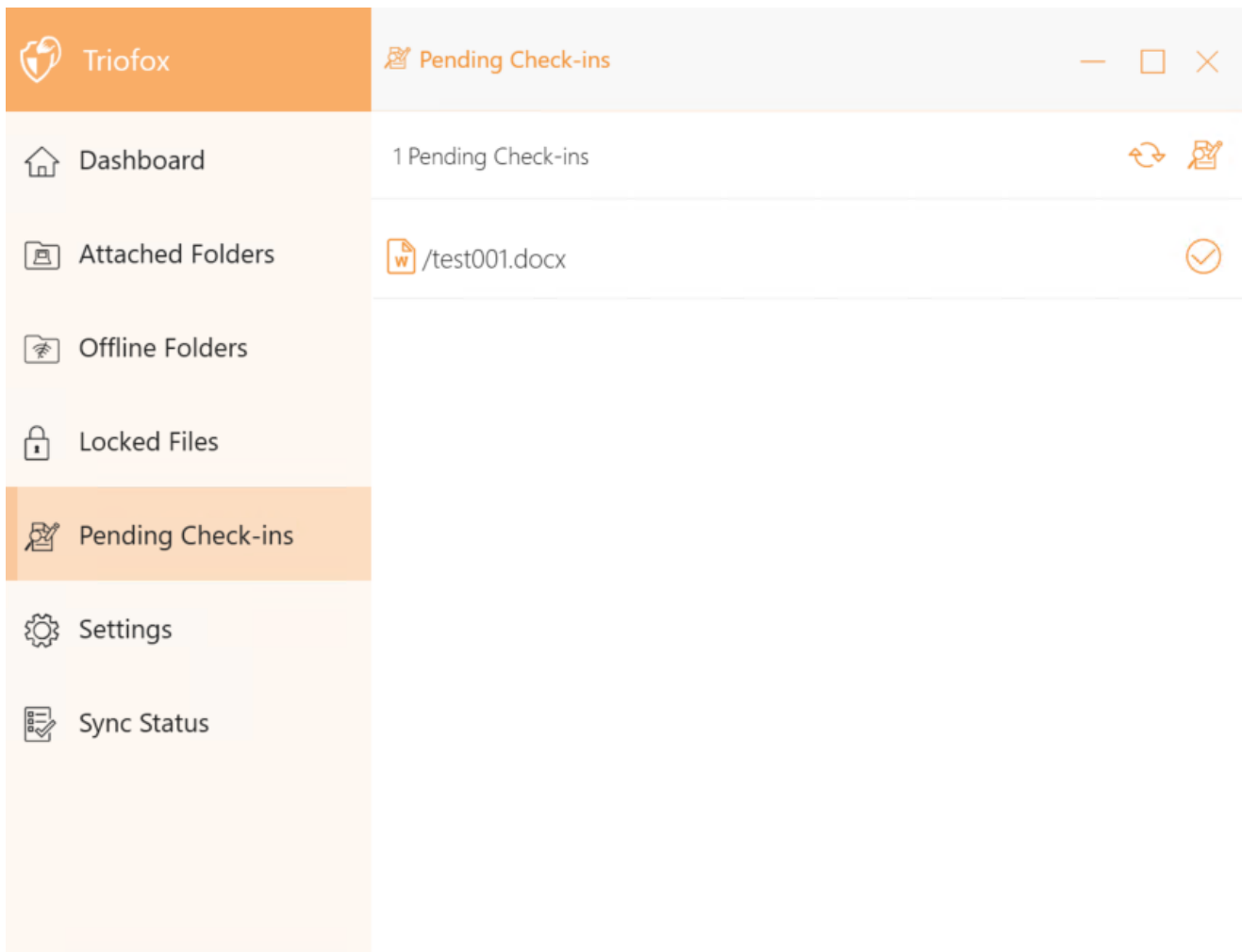
ロックされたファイル

現在使用中のファイルはロックされています。下の画像では、ユーザーがドキュメントを開いています。ユーザーがドキュメントを編集すると、ファイルは開いている間ロックされたままです。ロックされたファイルをロックされたファイルビューで表示するには、「更新」テキストをクリックすることが必要な場合があります。これらはローカルデバイス上のロックされたファイルです。ロックされたファイルには、自動的にロックされたファイル（例：Wordで開かれた）と手動でロックされたファイル（例：コンテキストメニューで右クリックしてロックされた）が含まれます。ファイルのロックを強制的に解除したい場合は、ロックアイコンを使用してそれを行うことができます。



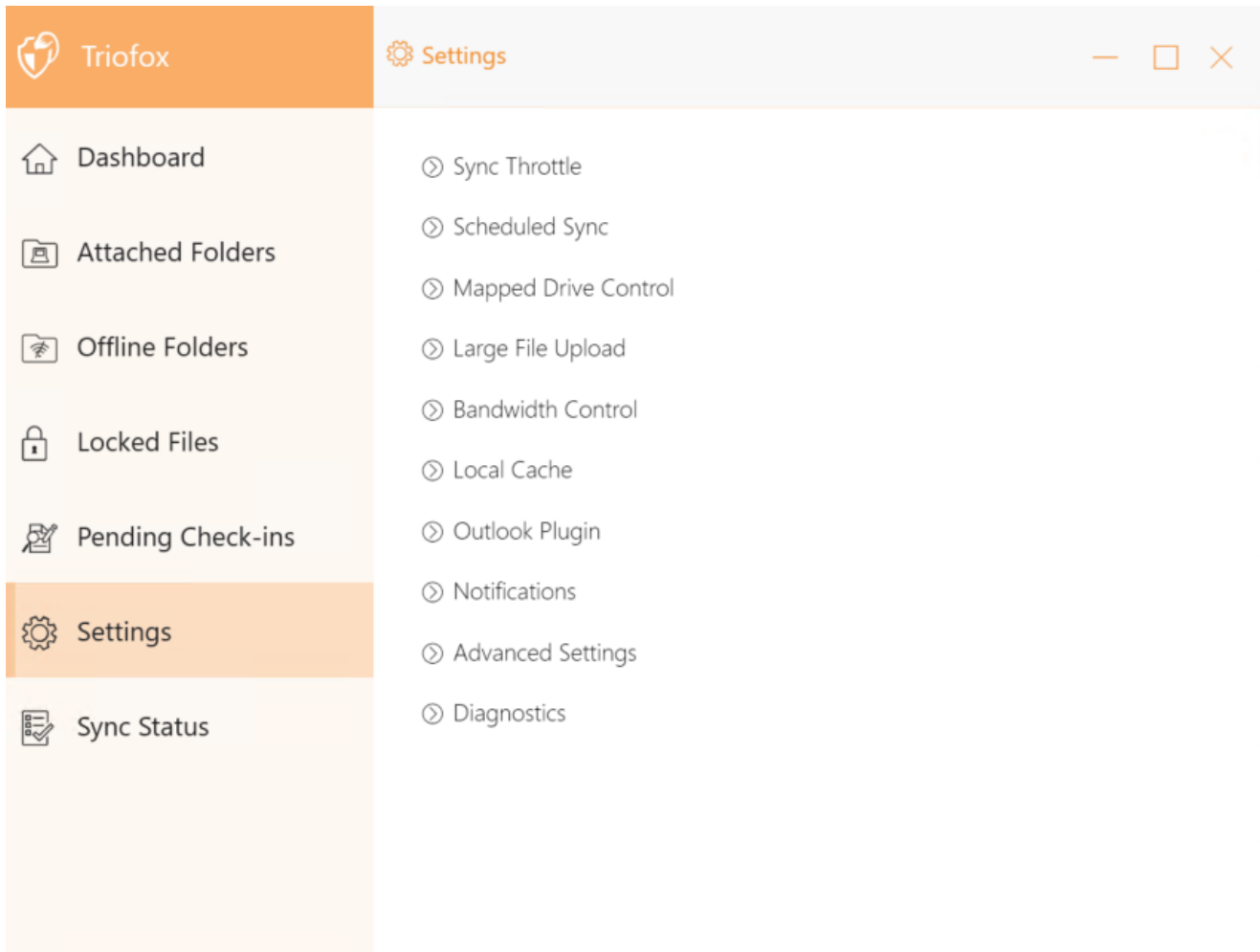
保留中のチェックイン

保留中のチェックインは、手動でチェックアウトされたファイルであり、変更をアップロードして保留中のチェックインビューから削除するためには手動でチェックインする必要があります。ここから、右上のアイコンを使用してファイルをチェックアウト（ロック）することもできますし、リスト内の各ファイルのチェックインアイコンをクリックしてこれらのファイルのロックを強制的に解除することもできます。



設定

設定は、現在のデバイスに適用できるさまざまなクライアント側の設定を保存します。



同期スロットル

False (デフォルト) - Trueの場合、ファイルの同期と転送はこのセクションで定義されたスロットル制御に従います。

同期スロットルアップロード帯域幅 (KB/s, 0-無制限)

0 (デフォルト) - デフォルト設定は無制限のKB/sですが、ここに数字を入力して設定された制限まで使用帯域幅を減らします。

同期スロットルダウンロード帯域幅 (KB/s, 0-無制限)

0 (デフォルト) - デフォルト設定は無制限のKB/sですが、ここに数字を入力して設定された制限まで使用帯域幅を減らします。

フルスピード同期開始時間 (デフォルト 7:00)

7 (デフォルト) - この設定は、フルスピード同期が開始される日の時間（24時間制）を表します。通常、フルスピード同期はインターネットの使用が低い夜に行われます。

フルスピード同期停止時間 (デフォルト 20:00)

20 (デフォルト) - この設定は、フルスピード同期が停止する日の時間 (24時間制) を表しています。通常、インターネットの使用が少ない夜間にフルスピード同期が望まれます。

ローカルファイルをスキャンし、必要に応じてクラウドに同期

False (デフォルト) - デスクトップクライアントは、どのファイルが同期されていて、どのファイルが同期されていないかを記述する状態データベースを構築します。デスクトップクライアントが再イメージされた場合、状態情報が失われる可能性があります。このオプションを使用すると、ローカルファイルをスキャンして必要に応じてクラウドにアップロードできます。これは、ローカルファイルがクラウドの情報よりも正確である場合に、状態情報を素早く再構築する方法です。

クラウドファイルをスキャンし、必要に応じてローカルに同期

False (デフォルト) - デスクトップクライアントは、どのファイルが同期されていて、どのファイルが同期されていないかを記述する状態データベースを構築します。デスクトップクライアントが再イメージされた場合、状態情報が失われる可能性があります。このオプションを使用すると、クラウドファイルをスキャンして必要に応じてローカルにダウンロードできます。これは、クラウドファイルがローカルファイルよりも正確である場合に、状態情報を素早く再構築する方法です。

ダミーファイル変更通知を無視

False (デフォルト) - このオプションがTrueに設定されている場合、0バイトのファイルやファイルシステムから変更通知を受け取ったが実際には変更されていないファイルに対する通知は送信されません。

スケジュール同期

スケジュール同期を有効にする

False (デフォルト) - クライアント側では、マップされたドライブ (またはマウントされたMacボリューム) に加えて、フォルダの同期機能もあります。この設定は、同期がいつ行われるべきかを制御するために使用できます。例えば、会社のインターネット帯域幅が限られている場合、帯域幅を節約するために業務時間中は同期を避けることができます。

マップドライブコントロール

クラウドドライブラベル

My Cloud Drive (デフォルト) - これはWindowsエクスプローラーで見ることができるドライブラベルです。

ドライブレター

M (デフォルト) - これはマップされたドライブレターの割り当てです。

ドライブのマウントを無効にする

False (デフォルト) - Trueに設定されている場合、Windowsクライアントの「マイコンピュータ」の下にクラウドドライブはマウントされません。

「マイドキュメント」の下にクラウドドライブのショートカットを作成

True (デフォルト) - Trueに設定されている場合、「マイドキュメント」フォルダの下にクラウドドライブのショートカットがあります。

帯域幅コントロール

ダウンロード帯域幅制限 (KB/s、0-無制限)

0 (デフォルト) - この設定はデフォルトで無制限に設定されています。この設定を変更して、指定したキロバイト数にダウンロード帯域幅を制限します。

アップロード帯域幅制限 (KB/s、0-無制限)

0 (デフォルト) - この設定はデフォルトで無制限に設定されています。この設定を変更して、指定したキロバイト数にアップロード帯域幅を制限します。

ファイル転送スレッドの最大数

5 (デフォルト) - 同期中に使用されるスレッドの数を制限するためにこの設定を使用します。

ローカルキャッシュ

キャッシュディレクトリ

C:\Users\username\AppData\Local\gteamclient\cache (デフォルト) - キャッシュのデフォルトの場所を変更するためにこの設定を使用します。

キャッシュサイズ制限 (MB)

0 (デフォルト) - デフォルト設定はゼロで、無制限です。この値を別の数値に設定して、MB単位でこのサイズにキャッシュを制限します。キャッシュを無効にすることもできます (推奨されませんが、Webポータルの設定でテナントダッシュボード>ロールから無効にすることができます)。

最小限の空きディスクスペース (GB)

0 (デフォルト) - デフォルト設定はゼロで、クライアントはディスクスペースをチェックしません。この値を別の数値に設定して、キャッシュが保存されているドライブの空きディスクスペースをクライアントがチェックするようにします。

通知

オフラインモード通知を無効にする

False (デフォルト) - オフラインモードになったシステムはデフォルトで通知を送信します。この通知を非表示にするには、これをTrueに変更します。

ファイル変更通知を無効にする

偽 (デフォルト) - 他の人によってファイルが変更された場合、または同じユーザーが異なるマシンから変更した場合、ファイル変更通知が送信されます。この設定をTrueに変更して、この通知を無効にします。

大きなファイルダウンロードトラッカーウィンドウを無効にする

偽 (デフォルト) - デフォルトでは、Windowsエクスプローラーが大きなファイルをバックグラウンドでダウンロードすると、大きなファイルダウンロードの進行状況ダイアログボックスが表示されます。この設定を使用して、この通知を無効にできます。

スケジュールされたタスクの自動タスクトラッカーを無効にする

偽 (デフォルト) - クライアントに対してスケジュールされた同期が有効になっている場合、ファイルが同期されたときの通知を無効にするためにこの設定を使用します。

シャットダウン確認を無効にする

偽 (デフォルト) - デスクトップクライアントがシャットダウンするとき、シャットダウン確認ウィンドウが表示されます。この設定は、この確認ウィンドウが表示されるかどうかを制御します。この設定をTrueに設定して、確認ダイアログを非表示にします。

フォルダ移動確認を無効にする

偽（デフォルト） - ファイル/フォルダを移動するときに確認ダイアログが表示されます。これをTrueに設定して、確認ダイアログを非表示にします。

高度な設定

zipファイルとexeファイルのインプレースオープニングを有効にする

偽（デフォルト） - デフォルトでは、WindowsクライアントはユーザーがマウントされたMドライブ上で直接zipファイルを開くことを許可していません。これは、zipファイルを開くことは、最初にキャッシュにzipファイル全体をダウンロードすることを意味するためです。zipファイルが大きい場合、ダウンロードは多くのネットワークトラフィックを生成し、Windowsエクスプローラーを遅くします。Mドライブ内でzipファイルを開くことをユーザーに許可したい場合は、この設定をTrueに変更します。次の設定は、この機能のサイズ制限を決定します。

インプレースで開くことを許可されているzipファイルの最大サイズ（MB）

これは、ユーザーが開くことを許可されているzipファイルの最大サイズを設定します。これは、ユーザー/Windowsエクスプローラーが非常に大きなzipファイルをダウンロードするのを防ぐために設計されています。デフォルトでは、それは20Mです。管理者がインプレースzipファイルの開封を有効にした場合、20Mのサイズのファイルのみが開けます。

常に画像プレビューを許可する

偽（デフォルト） - このオプションが有効になっている場合、ローカルファイルのプレビューサムネイルが生成されます。これは、画像ファイルの不必要なダウンロードに多くの帯域幅を消費します。

遅いネットワークモードを有効にする

偽（デフォルト） - 詳細情報なし。

タスクが実行中のときにマシンをスリープ状態にしない

真（デフォルト） - 夜は通常、ファイルをフルスピードで転送するのに適した時間です。しかし、マシンがファイルの転送を妨げるスリープモードに入ることがあります。この設定は、スリープモードがアクティブになるのを防ぐことができます。

ドライブをグローバルスペースにマウントする

偽（デフォルト） - グローバルスペースにマウントされたドライブは、ユーザーアカウントコントロール（UAC）の制限の対象ではありません。たとえば、管理者権限で実行する必要があるレガシーアプリケーションがUACで保護されたドライブを見ることができない場合などです。一方、グローバルスコープにマウントされたドライブは、同時に同じWindowsマシンにログオンする他のすべてのユーザーに対して可視です。

隠しファイルをアップロードする

偽（デフォルト） - 隠しファイルをクラウドにアップロードしたい場合は、この設定をTrueに変更します。

システムファイルをアップロードする

偽（デフォルト） - システムファイルをクラウドにアップロードしたい場合は、この設定をTrueに変更します。

常にアクセスされるファイルをアップロードするためにボリュームシャドウコピーを使用する

偽（デフォルト） - デフォルトでは、アクティブに開かれているファイルは、閉じられるまでアップロードされません。この設定はこの動作をオーバーライドし、開かれている状態に関係なくすべてのファイルがアップロードされるようにします。

診断

監査トレースログを保持する（日数、0=決してパージしない）

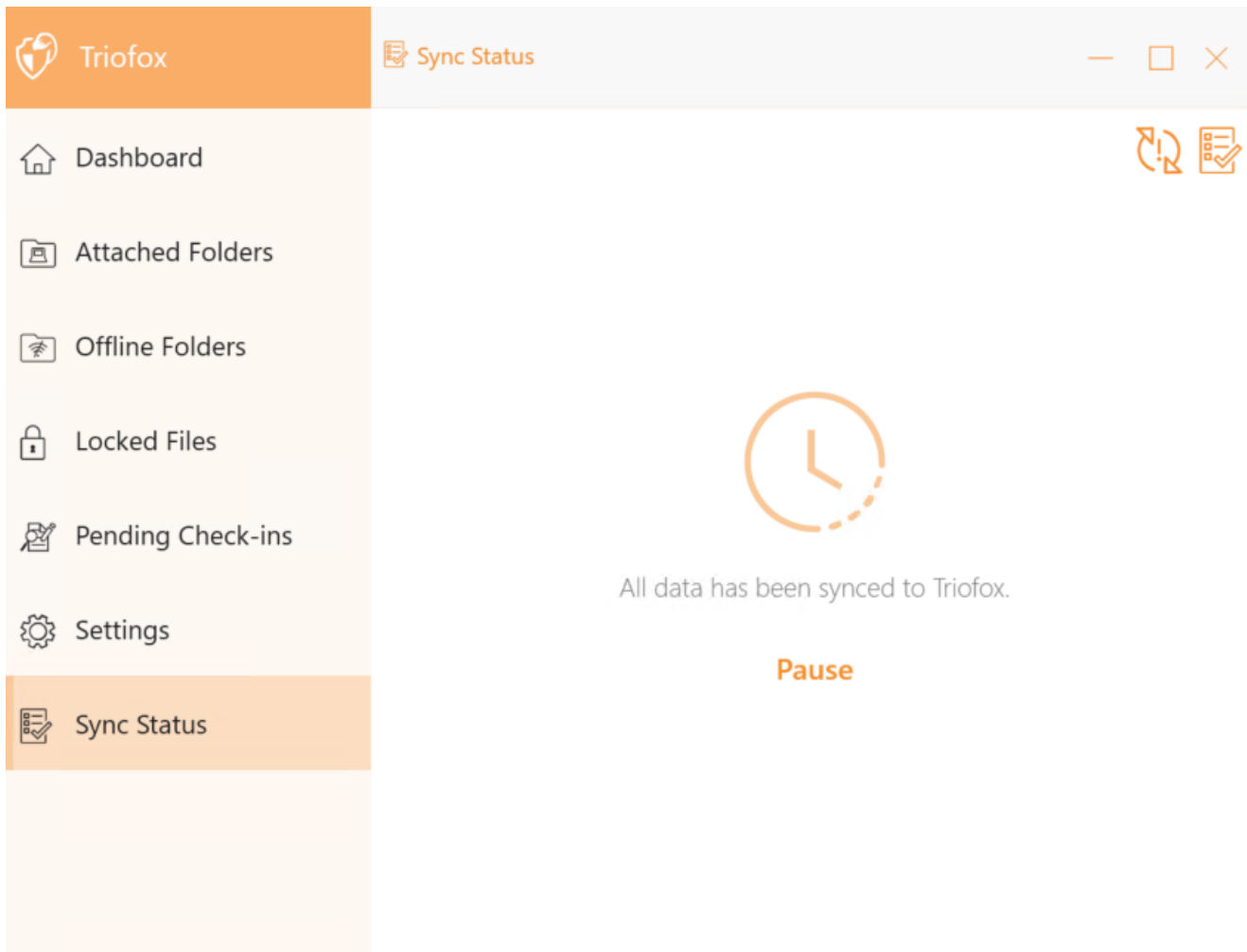
5（デフォルト） - この設定は、監査トレースを何日間保持するかを決定します。

トレースレベル（無効、エラーログ、警告ログ、情報ログ、すべてのログ）

無効（デフォルト） - デフォルトでは、トレースレベルは無効です。表示されたレベルに変更できます。

同期ステータス

同期ステータスは、現在のローカルデバイスで実行中のタスクを表示することができます。



タスクマネージャー

タスクマネージャーにアクセスするには、同期ステータスの右上にあるアイコンを使用します。ここでは、システム更新、エクスプローラープレビュー、システム同期などのタスク転送を監視することができます。



Dashboard

2 Task(s)



Attached Folders



Offline Folders



Locked Files



Pending Check-ins



Settings



Sync Status

System Sync Task



Total Subtask(s): 0 Pending: 0 Failed: 0 Running: 0

Last Run Time: 2021-11-24 18:27:15 Next Start Time: 6 Seconds

[Start Now](#)

[Pause](#)

[Details](#)

System Sync Down Task



Total Subtask(s): 0 Pending: 0 Failed: 0 Running: 0

Last Run Time: 2021-11-24 16:57:57 Next Start Time: 11 Seconds

[Start Now](#)

[Pause](#)

[Details](#)